

研究課題名	<b>C型慢性肝炎・肝硬変に対する経口抗ウイルス治療後の長期予後に関する研究</b>
研究の意義・目的	C型慢性肝炎・肝硬変に対する経口抗ウイルス治療を受ける患者さんにおいて、治療の有効性と安全性を評価します。さらにC型肝炎ウイルスが消失した患者さんの長期観察を行い、肝予備能改善、肝線維化改善、肝発がん抑制効果を評価し、最終的には寿命の延長に寄与できるかを明らかにします。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年9月～2027年3月に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵内科に、C型慢性肝炎・肝硬変の経口薬治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた以下の研究でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させていただきます。 #3131「セロタイプ2型HCV慢性肝疾患に対する経口薬治療の有用性と安全性に関する前向き研究」 #3212「セロタイプ1型HCV慢性肝疾患に対する経口薬治療の有用性と安全性に関する前向き研究」 #3898「パンジェノ型経口抗HCV薬を用いたC型慢性肝疾患治療の効果と安全性を評価する前向き試験」 #4292「C型非代償性肝硬変例に対するソホスブビル+ベルパタスビル併用治療の実態調査」 #4312「DAA治療失敗例に対するソホスブビル+ベルパタスビル+リバビリン併用治療と薬剤耐性変異の関連」  試料：【血液、肝組織】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活習慣、検査データ、画像データ】
試料・情報の他機関への提供	他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究責任者 榎本大
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は、アッヴィ合同会社より教育研究奨励金を受け実施しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 榎本大 電話番号：(06) 6645-3905